

富山県射水市バリアフリーマスタープラン(R2.3策定)

人口:92,689人(R2時点) 面積:109.43km²

基本情報

<趣旨>

・地域における高齢者や障害者等が日常生活や社会生活を確保する上で生活の支障となる**物理的障害**や**精神的障害を取り除き**、都市整備等と連携したバリアフリー化を推進するため。
・射水市総合計画、関連計画（射水市都市計画マスタープラン、射水市地域公共交通網形成計画等）の考え方を踏襲し、整合性について十分に考慮。

<方針>

- 基本理念 **「やさしさとともに歩むまち いみず」**
- 基本方針
 - ・快適な歩行ネットワークの形成
 - ・施設内の安全性・快適性の向上
 - ・情報提供方法の充実
 - ・公共交通の充実
 - ・バリアフリー意識の醸成
 - ・人材の育成

作成するにあたって

<作成のきっかけ>

・合併前の旧小杉町でバリアフリー基本構想が策定されていたこと。

<作成過程>

・庁内会議である射水市バリアフリーマスタープラン策定幹事会（H31.1実施）から検討され、R2.3に策定。

会議体は、射水市バリアフリーマスタープラン策定協議会、射水市バリアフリーマスタープラン策定幹事会（それぞれ4回開催）

・高齢者や障害者関連団体、子育て関連団体などの9団体に**個別ヒアリング**を行うとともに、移動制約者や施設管理者など20名で生活関連施設や生活関連経路の**現地踏査**を実施し、バリアフリー化の課題を整理。

・福祉部局で実施したアンケート結果（障害者福祉等について）を策定時に使用。

・パブリックコメント 意見数7件

<作成にあたり苦慮した点>

・担当部署が複数にまたがるため、主となる担当課をどこにするかということ。

・**策定する必要性**を庁内関係課に理解してもらうこと。

<公共交通バリアフリー化調査事業関係で苦慮した点>

・書類作成の手間がかかること。（エクセル表の事業費按分）

移動等円滑化促進地区

○小杉地区 ○新湊地区 ○大門・大島地区

・選定理由

①射水市都市計画マスタープランまたはバリアフリーや都市整備に関する関連計画に位置づけられている地区。

②生活関連施設が徒歩圏内にあり、高齢者や障害者等の利用頻度が高く、当該施設相互間の移動が徒歩で行われる施設を含む地区

③高齢者人口の集積状況（人口密度）やまちづくりの状況を考慮。

策定後の動き

・**バリアフリー基本構想の策定を新たに行っており**、補助金を活用した整備を今後実施する予定。

・必要に応じて、バリアフリー基本構想やバリアフリーマスタープランの**策定後5年を目途に評価、見直し**を図る。

<参考情報>

・バリアフリーマスタープランで移動等円滑化促進地区に設定していた大門・大島地区内の「越中大門駅周辺地区」を対象としたバリアフリー基本構想をR4.3に策定予定。

※射水市バリアフリー推進協議会（R3.8, R3.11, R4.2の3回）にて検討。